

周東三和子候補が大健闘

中央図書館の分割・移転は中止し今の場所で充実させる
物価高から暮らし守り国保税を軽減、学校給食費引下げる



多くの市民と一緒に訴える周東三和子候補。矢野ゆたか元市長も応援（周東候補の右隣）=6月25日、狛江駅

猛暑のなか最後まで訴え

出馬表明から5週間の大奮闘、得票約8千票

当選は現職の松原俊雄氏

6月26日、狛江市長選挙の投
開票が行なわれました。

「豊かな狛江をつくる市民の会」の周東三和子候補は、「市民（ひと）輝く狛江」、「助けてと言えぬまち、助けてに伝えるまち」を掲げて奮闘しましたが、残念ながら当選にいたりませんでした。しかし周東三和子候補は出馬表明からわずか5週間

の大奮闘で、約8千票の貴重な支持を得て大健闘しました。当選は現職の松原俊雄氏。

周東候補は選挙期間を通して、現市長が市民合意のない中央図書館の分割移転の方針を「参加と協働」踏みこむ形で決定したり、物価高のなか、市民生活を顧みず国民健康保険税の大幅値上げを進めていることに対して厳しく批判しました。そして「中央図書館の分割・移転は中止し現在地で増築等により充実させる」「国保税の負担軽減や

学校給食費の引き下げを実施する」「学校の女子トイレへの生理用品の常備」など掲げ、最後まで訴え続けました。選挙結果は、多くの市民に現市政の中央図書館の分割・移転方針や市民生活への対応など、強い批判があることを示しました。

応援に感謝。公約実現めざし市民運動にとりくむ

開票結果が明らかとなった26日夜、周東三和子さんは選挙事務所
で記者会見し、「選挙戦のなか、かつてない多くの人々と出会い、ご要望も伺い、応援もしていただいた。心から感謝したい」「図書館の問題など選挙期間中、一生懸命訴えて
広く市民に知っていただき良かった」「市民の納得が得られてないのに決まったことだからと、そのまま進める
のではなく、参加と協働を大切にしてみんなの声を聴いてほしい」「『助けてと言えぬまち…』の訴えは反響があった。今後、公約に掲げた要望を実現するために市民運動のなかでとりくんでいきたい」と語りました。

裏面に「豊かな会」の声明

狛江市長選挙の結果 投票率 43.26%

候補者名	所属	推薦	得票数
周東三和子（無新）	共・社		7,997
松原俊雄（無現）	自・公		21,451 当

*当日有権者数 68,844 *前回投票率 45.31%

